

遮音壁の設計計算 Ver.5 Upgradeプログラム価格
¥187,000 (税抜¥170,000)

Windows 10/11 対応

3DA対応

電子納品 3D PDF

JH設計要領に準拠し、遮音壁の設計計算を行なうプログラム

最新の JH 設計要領第五集「遮音壁設置要領」に準拠し、遮音壁の設計計算を行うプログラムです。遮音板の種類としてはコンクリート板、金属板、アクリル板を用意し、それぞれ任意サイズを登録追加可能です。

- 支柱形式: 直壁タイプ、張出しタイプ(直線+円弧)先端分岐型タイプ
- 支柱部材: H形鋼(任意サイズを自由に登録追加可能)
- 支柱断面: 断面変化(継手の設置)、経済設計が可能
- 大型遮音壁の設計も対応
- 基礎形式: 鋼管杭基礎、直接基礎、高欄取付け
- 杭基礎の設計: 水平方向の安定照査、杭体応力度照査
- 直接基礎の設計: 地盤の鉛直支持力、転倒・滑動に対する安定照査
- 高欄取付け・ボックスカルバート上部取付け: アンカーボルトの設計
- 荷重: 死荷重、風荷重、土圧考慮、支柱付根断面力が最も不利になるよう載荷
- 落下防止索の安定照査が可能

適用基準

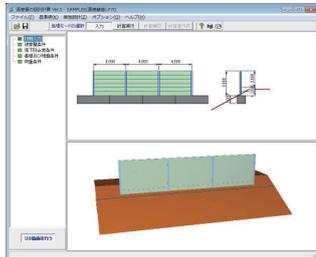
1. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 R3年7月 NEXCO
2. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H29年7月 NEXCO
3. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H28年8月 NEXCO
4. 設計要領第五集 交通管理施設等編 遮音壁設計要領 H27年7月 NEXCO
5. 遮音壁標準設計図集 H11年12月 日本道路協会
6. 道路標示方書・同解説 IV下部構造編 H14年3月 日本道路協会

Ver.5 改訂内容

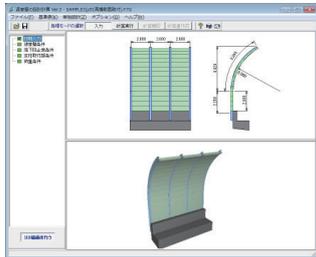
2024年7月30日リリース

1. 「設計要領 第五集 遮音壁 令和3年7月」に対応
2. 土圧強度の計算で土圧荷重及び粘着力の考慮に対応
3. 直接基礎の地盤反力度照査に対応
4. 3Dアニメーション及び3Dアトリビュート表示機能に対応

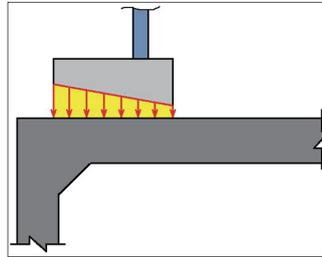
▼メインウィンドウ (直接基礎タイプ)



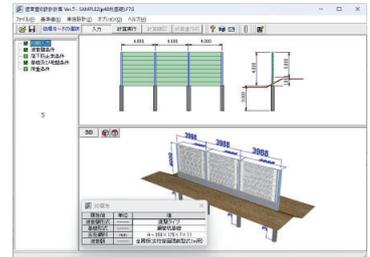
▼メインウィンドウ (高欄取付タイプ)



▼ボックスカルバート上への遮音壁設置イメージ



▼3Dアニメーション・3Dアトリビュート



道路標識柱の設計計算 Ver.4

プログラム価格
¥176,000
(税抜¥160,000)

Windows 10/11 対応

3DA対応

電子納品 3D PDF

道路標識ハンドブックに準拠した、
道路標識柱の設計計算プログラム

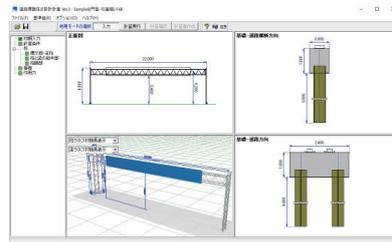
『道路標識ハンドブック 2021年度版』もしくは『道路標識構造便覧 令和2年6月』に記載されている照査内容に基づき、柱や基礎の検討を行う道路標識柱の設計計算プログラムです。

- 柱形状: 路側式の「単柱型」と「複柱型」、片持ち式の「F型」、「逆L型」、「T型」、門型(鋼管トラス構造)に対応
- F型・逆L型・T型: 添架式標識に対応
- 単柱型: 「円形」「長方形・正方形」「三角形・逆三角形」「ひし形」「五角形」に対応
- 基礎天端作用力の直接入力を選択可能
- T型: 梁材が1本の場合や、左右の標示板の大きさが異なる非対称形式も対応
- 基礎部: 土柱埋込式(根かせありなし)、ケーソン式、直接基礎、杭基礎(2本杭)、置き基礎
- 梁部、柱部、柱と梁の継手部、開口部、柱脚部、基礎の照査に対応
- 直接基礎・杭基礎: 土被り厚を考慮した計算に対応/支柱位置の偏心に対応/道路横断方向の安定照査及びフーチング照査に対応
- 無筋コンクリート照査対応
- ハンドブック内で示されている風時の照査をサポート
- 直接基礎のフーチング照査に対応

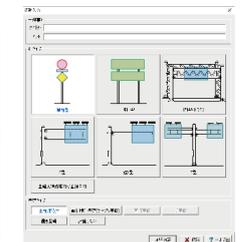
適用基準及び参考文献

1. 道路標示方書・同解説 IV下部構造編 平成24年3月、社団法人 日本道路協会
2. 道路標識ハンドブック 2012年度版、一般社団法人 全国道路標識・標示業協会
3. 道路標識ハンドブック 2019年度版、一般社団法人 全国道路標識・標示業協会
4. 道路標識構造便覧 令和2年6月、公益社団法人 日本道路協会

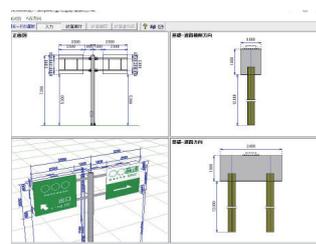
▼メイン画面



▼初期入力画面



▼メイン画面(T型)



▼メイン画面(F型)

